

断熱屋根パネルと断熱腰壁の初採用

- (商品) 2018年10月に発表した「フラットルーフ PN(断熱屋根パネル)」と「KF パネル(断熱腰壁)」は、建築物の省エネ基準への適合性が求められる中、外装部材の断熱性能の向上を目指した商品部材である。
- (採用) 「フラットルーフ PN(断熱屋根パネル)」は KAYD 新築工事(建設地:茨城県鹿嶋市、施工者:常総開発工業(株))、「KF パネル(断熱腰壁)」は(株)シンメイ様長野東御工場建設工事(建設地:長野県東御市、施工者:(株)竹花組)と幸福米穀株式会社本社低温倉庫新築工事(建設地:大阪府交野市、施工者:安積建設(株))にて採用され建築工事は完了した。
- (特徴) 「フラットルーフ PN(断熱屋根パネル)」は、断熱パネルの表面を露出用の塩ビ鋼板とし、パネルの目地には防水シートを溶着し、シート防水を省略した商品部材である。また、「フラットルーフ PN(断熱屋根パネル)」は、事務所建築物の屋根音鳴り対策としても有効である。
- 「KF パネル(断熱腰壁)」は、(腰壁)KF パネルと断熱パネルとを貼り重ねる乾式工法である。「KF パネル(断熱腰壁)」の標準化により、システム建築の全ての外装システム(屋根・外壁・腰壁)で、断熱仕様のラインナップが図れた。

<以上>

「フラットルーフ PN(断熱屋根パネル)」

